建友会報
NO.5
発行所
建友会本部
古川市桑ヶ池25（〒989—61）
宮城県古川工業高校建築科内
（TEL 02292—2—3166）
振替口座 仙台18347
発行人 桜田 国男
編集人 菊池 謙

会館建設の夢に第一歩

建友会賛助会発足 すでに9社協力

迫られる財政の強化

52年度より年度会費値上げへ

建友会はこの五月で満五年度をむかえるが、年末幹部役員が提案してきた建友会館建設が夢物語でなくなる期待ができた。

これは51／7／15—17の本部役員会の席上話題となり0項参照に提案することは難かしいが最低実現を期すべき事項とする0財源については、有志企業による賛助会を組織し、賛助金の確立で開始する。

②この推進役は高校三年生の先輩である五部氏（一七一）を実行委員長とし本部役員をスタッフとする。なの骨格的展合いが行われ、ただちに一部企画に着手を発送、年末までとなった。

これに先だち51／7／15—17の校内体育大会も一部制で中止となり、寒しい秋をしのばれたが、よく健康、一五九ポイントを得て、総合優勝を飾ったが、二位電気科との差はわずか五ポイントとあった。

二宮杯再びわが科へ
——マラソン大会
完全優勝なる

春の大運動会は雨にたたられてドロンゲームとなったこともあって、本年度二宮杯は校内マラソン大会（10／16）に振り替えられることとなった。

▲二宮杯2連覇なる

▲古工展に建研出品の古川市都市計画模型

本年度就職全員内定

——低成長下、ますます厳しさ増す環境——

昨年度をはるかに上回る求人倍率に始まったが、建築科は求年の四、49年三四、50年一六九、51年二一八、と本年度は最低の記録となり、又求人内容も順調が多いしかし、求年の実績と二、言した進路指導の成果が顕然際ろを発揮した年、今年も多くの建友会OBの大きな協力があったことなどが早期全員内定につながったわけで在校生はもとよりこのことを深く銘記すべきであろう。

最終クンナ1は一五八位で終り一位、一年も佐藤国夢の二位を維頭に百位内に五割が入るという手堅さをみせ一位。当日は建築科一色に大変な活況。

これで昨年に引続いて二連覇を達成したわけであるが、今度一丸スタート（第二十九分で二位に）ということのないように向って青春をかけた精神力の原理であり、建友会の精神に通じる大団結精につながること必須条件はその意義は大きいものがある。

建友会のあゆみ

45. 11	OBの結束とコミュニケーションの必要を痛感し、会員名簿の作成作業および、会設立のPRを開始。
47. 4	菊池科長、桜田国男氏や村田恭一氏らと接触、建友会設立に協力を求め、建友会設立発起人会を結成
47. 5	建友会設立趣意書発表、会長に桜田国男、事務局長に母校建築科長菊池謙就任
47. 6	同窓会長、同窓会東京支部長に設立の趣旨説明。松下厳と接触協力を要請
47. 9	建友会報創刊号発行
48. 2	名簿第1号発行
48. 10	会員実勢統計なる
48. 11	会報第2号発行
49. 4	名簿第2号発行
49.4/27	大崎支部設立総会（39名参加）支部長に 佐藤正治就任
49.5/18	仙台支部設立総会（85名参加）支部長に 大沼弘一就任
49.7/14	関東支部設立総会（135名参加）支部長に 荒井祐二郎幹事長に松下厳就任
49. 12	会報第3号（建築科創設30周年記念）発行
50. 2	地元紙「大崎タイムス」に建友会紹介記事掲載
50.3/20	石巻支部設立総会（27名参加）支部長に 久保金吾就任
50. 4	終身会費制より年度会費制に移行
50.5/31	大崎支部第2回総会（46名参加）
50. 6	名簿第3号発行
50.6/28	仙台支部第2回総会（100名参加）
50.9/13	関東支部第2回総会（103名参加）
51. 1	会報第4号発行
51.4/16	石巻支部第2回総会（25品参加）
51.6/6	名簿第4号発行
51.6/9	大崎支部第3回総会（43名参加）
51.6/26	仙台支部第3回総会（108名参加）
51.9/12	関東支部第3回総会（67名参加）
52.1/15	会報第5号発行

哀悼

支部 利雄氏（一工高7回）51／4／25逝去。享年最新発明51／4／25逝去。享年最新発明者で民防衛庁に勤務。その間医政大に学ぶ。遺族、妻修さん、長女理子さん。信用組光田沢一九四四、五一一

遊佐 弘氏（一工高1回）51／5／26逝去。建設関係の自営。保険関係業務などを経て最近運輸事業に成功、将来を期待されていた。遺族、夫人と一男二女。住所鳴子町字志波西七六一一

T定規

▼50／11労働少年に対する組回府意識調査の結果がこのほど発表された。そのなかで、人形観と生活意識について、「自分の趣味にあった暮をされた。愛称「サブ先生」といえば多くのOB諸君には思い出深い先生のことであろう。先生の今後の御健康を祈るものである。

▼51／4勇退される「五四・四会」（そのまま残しておきたいよい名前ですね）三・〇会という集まりで、よくよくよしの日々の日をのんきに、くよくよしないで暮す」

千葉三郎先生 御勇退

千葉三郎先生が51／4勇退された。先生は本校に昭和24年赴任され、以来28年間機械体育を担当され、特に柔道の指導に大の情熱を傾けられた。愛称「サブ先生」といえば多くのOB諸君には思い出深い先生のことであろう。先生の今後の御健康を祈るものである。

建友会会則

第一条（名称）
本会は建友会と称し本部事務局を母校建築科におく。

第二条（会員）
本会は母校建築科卒業生および建築科に在籍したるもの、ならびに建築科の現・旧職員をもって組織する。

第三条（支部）
本会には適宜の便宜のため事業所別支部ならびに地域別支部・クラス会を設けることができる。

第四条（目的）
本会は母校建築科を核として会員相互の連帯を深め互助互恵の精神をもって大同団結し会員各自の力量の向上発展の原動力たらしめることを目的とする。

第五条（事業）
(1)会員相互間の親睦なる連絡提携
(2)会報の発行

第六条（会員）
本会の会員は会員名簿に登録されたものとする。

第七条（会費）
本会の会員は会員が必要と認めたときこれを負担する。

第八条（会計）
本会の経費は年度会費を会員より徴収してこれにあてる。

第九条（監査）
本会の収支は会員の指によって行ない毎年三月末日監査を受けねばならない。
監査報告は翌年発行の会報によって会員に周知させるものとする。

◇ ◇ ◇

この会則は昭和四十七年五月一日より施行する。

企業別建友会員分布状況

——2名以上——
≪S.52.4現在≫

（在籍数） <企業名>

19名 ㈱熊谷組
18名 ㈱浅沼組 鹿島建設㈱ 宮城県庁
16名 ㈱橋本店 ㈱大林組 飛島建設㈱
12名 戸田建設㈱
13名 古川市役所
12名 フジタ工業㈱
11名 大木建設㈱ 阿部建設㈱ 安藤建設㈱ 共立建設㈱
10名 国鉄 日産建設㈱ 田中土建工業㈱
9名 ㈱福田組 池田建設㈱ 木田建業㈱ 清水建設㈱
8名 ㈱平野組（一ノ関） 日本住宅公団 西松建設㈱
7名 大末建設㈱ 大和ハウス工業㈱ 職業訓練校教導 仙台市役所 住友建設㈱ 松栄建設㈱ 大成建設㈱ 田尻町役場
6名 不動建設㈱ 岡本冷蔵㈱ 太平工業㈱ 東急建設㈱ 和同建設㈱
5名 第一建設㈱ ㈱間組 菱中興業㈱ 石巻市建築課 ㈱片山組 国栄建設㈱ 前田建設工業㈱ 宮城交通㈱ ㈱鹿島技術研究所 鈴蔵工業㈱ ㈱竹中工務店 ㈱内野工務店 鄭政
4名 東北地方電通局 古川工高 ㈱富士工 ㈱平野組（築館） 農協設計センター 国税庁 丸か建設㈱ 日東建設㈱ 小田急建設㈱ 鉄建建設㈱ ㈱神馬木工場 ㈱佐藤正治建築設計
3名 阪建設㈱ 阿部忠行設計 ㈱ACE創建 防衛庁 中央ビルト工業㈱ 大和建設㈱ ㈱遠藤工務所 不二コンクリート工業㈱ ㈱林組 ㈱間越工務所 ㈱岩木組 ㈱加賀田組 慈石市役所 神奈川県警施設部 丸石工業㈱ 三菱建設㈱ ㈱村田工務所 中村工業㈱ ㈱中野組 ㈱桜田建築設計 仙台地検 仙北建設㈱ 菅伸建築設計 ㈱鈴建 ㈱鈴木弘人設計 ㈱佐藤工務店 太平住宅㈱ 高砂建設㈱ 宝建設㈱ ㈱田村組鉄骨 丹野建設㈱ 東亜建設工業㈱ 東北旭方建設局 東京都 弥生建設㈱ 吉野建築設計
2名 ㈱赤石建設 ㈱阿部和工務店 旭化成工業㈱ 大日本セ木㈱ 板橋設計 岩出山町役場 櫂建築設計室 ㈱金原土建 ㈱建築設計 カノ建設工業㈱ 吉久根建設㈱ ㈱鵜ノ池組 ㈱興盛工業㈱ ㈱服取石材工業㈱ ㈱丸木組 丸源建設㈱ 増田建築㈱ 三井建設㈱ 県警宮崎建設工業㈱ 長岡建設㈱ 中城建設㈱ 日本住宅パネ協 日本道路公団 日徳興業㈱ 大場建設㈱ 小原建設㈱ ㈱奥村組 大内住研㈱ 佐々木建築設計 ㈱桜井鉄工所 仙台建築デザイン研究室 ㈱郡戸工業所 SM工房 相立建設㈱ 菅原工業所 鈴木建設㈱ ㈱照井工務店 東海住宅㈱ 東海興業㈱ ㈱巴組鉄工所 ㈱矢内店舗設計 ㈱吉田木工所 常盤開発㈱
（144事業所）

建友会賛助会 芳名録

○松栄建設㈱ 大宮市櫻木町4-992 （五口）
○丸か建設㈱ 中新田町字赤塚37 （五口）
○㈱桜田国男建築設計室（五口） 仙台市上杉6-2-29
○㈱佐藤正治建築設計室（五口） 古川市北町3-3-23
○鈴木建設㈱ 南谷町字木町57 （五口）
○共立電気㈱ 古川市中里字東田端36-2 （五口）
○㈱村田工務所 古川市花立字宅地5-4 （五口）
○㈱第一建設 古川市南新町2-46 （五口）
○㈱間部忠行一級建築事務所 小牛田町北浦大口 （五口）

（3）会員名簿の発行
（4）賦課
（5）その他必要な事業

第三条（役員）
（1）会長 一名
（2）副会長 二名
（3）監事 三名
（4）支部長（若干名）
（5）幹事（若干名）
（6）事務局長（母校教員）
（7）顧問 （若干名）

建友会報 No.5 昭和52年1月15日 発行 建友会本部 古川市桑ヶ池25 TEL 02292—2—3166 振替口座 仙台18347 発行人 桜田国男 編集人 菊池謙